

ダンスケ銀行の最近のニュースについて

日付	ニュース
2026/2/5	ダンスケ銀行が5日に発表した2025年通期決算は、ネット手数料収入が154.2億デンマーククローネ(DKK)(前年比+3.4%)と増加したものの、営業費用が258.4億DKK(同+0.4%)、貸倒引当金が8.3億ユーロ増加したことなどから、当期利益230.3億DKK(同▲2.5%)と減益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比1.5ポイント低下の18.2%となっている。同行は「融資と顧客預金の両方が増加した1年間であった」と述べた。(2月5日付同行2025年決算資料より作成)
2025/10/31	ダンスケ銀行31日に発表した2025年第3四半期決算は、ネット手数料収入が35.0億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+5.1%)と増加したものの、営業費用が63.2億DKK(同+1.4%)と増加したことなどから、当期利益は55.2億DKK(同▲10.4%)と減益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比横ばいの18.7%となっている。同行は、金利収入・手数料収入は引き続き底堅い。通期目標の達成には自信があると述べた。(10月31日付同行2025年行第3四半期決算書より引用)
2025/7/18	ダンスケ銀行が18日に発表した2025年第2四半期決算は、トレーディング収入が8.5億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+40.4%)と増加したものの、ネット利息収入が90.6億DKK(同▲0.8%)、ネット手数料収入が34.0億DKK(同▲7.8%)といずれも減少したことなどから、当期利益は54.5億DKK(同▲6.5%)と減益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比0.3ポイント上昇の18.7%となっている。同行デヴィスCEOは「地政学的混乱や市場のボラティリティといった課題にもかかわらず、北欧諸国の経済は引き続き回復力を示している」と述べた。(7月18日付ダンスケ銀行第2四半期決算書より引用)
2025/5/2	ダンスケ銀行が2日に発表した2025年第1四半期決算は、ネット利息収入が90.2億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比▲1.3%)と減少したものの、ネット手数料収入が36.5億DKK(同+8.3%)と増加したことや、営業費用が62.9億DKK(同▲0.7%)と減少したことなどから、当期利益は57.5億DKK(同+2.2%)の増益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比0.6ポイント上昇の18.4%となっている。同行エゲリスCEOは「中核収益の着実な伸びと安定したコスト水準により、期待通りの堅調な業績を達成した。」と述べた。(5月2日付同行第1四半期決算書より引用)
2025/2/7	ダンスケ銀行が7日に発表した2024年通期決算は、ネット利息収入366.9億デンマーククローネ(DKK)(前年比+4.9%)およびネット手数料収入149.1億DKK(同+5.5%)と増加したことなどから、当期利益23.6億DKK(同+11.1%)と増収増益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比1.3ポイント低下の17.8%となっている。同行は、自社株買い計画と特別配当を発表し、株価は7%上昇した。(2月7日付ダンスケ銀行通期決算書より引用)
2024/10/31	ダンスケ銀行31日に発表した2024年第3四半期決算は、ネット利息収入が91.6億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比▲1.6%)と減少したものの、ネット手数料収入が33.2億DKK(同+5.5%)、保険事業収入が4.5億DKK(同+96.9%)と増加したことなどから、当期利益は61.6億DKK(同+15.9%)と増益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比0.6ポイント上昇の19.1%となっている。同行は、今年2度目となる2024年の利益見通しを引き上げた。(10月31日付ダンスケ銀行第3四半期決算書より引用)

本レポートは、株式会社インテリジェント（以下、「インテリジェント」と称します。）が、インテリジェントの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにインテリジェントが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、インテリジェントはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はインテリジェントの見解であり、変更される可能性があります。インテリジェントは、本レポート中の見解または情報を見直す義務を負いません。

インテリジェントおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2024/7/19	<p>ダンスケ銀行が19日に発表した2024年第2四半期決算は、ネット利息収入91.4億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+7.4%)、ネット手数料収入36.9億DKK(同+22.5%)といずれも増加したことなどから、当期利益は58.3億DKK(同+16.5%)と増益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比横ばいの18.5%となっている。同行エゲリスCEOは「堅調な純金利収入、顧客活動活発化による手数料収入の増加、信用の質の高さが相まって純利益の増加につながった。ECBによる利下げは経済活動に恩恵をもたらすと考えている。」と述べた。(7月19日付ダンスケ銀行第2四半期決算書より引用)</p>
2024/5/3	<p>ダンスケ銀行が3日に発表した2024年第1四半期決算は、ネット利息収入91.4億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+13.9%)、ネット手数料収入33.7億DKK(同+3.87%)といずれも増加したことなどから、当期利益は56.2億DKK(同+8.9%)と増益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比0.3ポイント低下の18.5%となっている。同行エゲリスCEOは「以前指摘していた顧客の信用度は改善した。2024年の見通しは不確実性が多いため据え置く。」と述べた。(5月3日付ダンスケ銀行第1四半期決算書より引用)</p>
2024/5/2	<p>ムーディーズはダンスケ銀行の長期預金格付けとシニア無担保債務格付けをA1に引き上げ、長期預金格付けとシニア無担保債務格付けの見通しを安定に変更した。格付け引き上げは、同行がエストニア事業におけるAML違反を是正し、2023年の好業績を反映。金融犯罪対策計画の完了や和解により、ガバナンスのリスクが減少したことを評価している。(5月2日付ムーディーズ発表文より引用)</p>
2024/2/2	<p>ダンスケ銀行が2日に発表した2023年通期決算は、ネット利息収入が350.0億デンマーククローネ(DKK)(前年比+39.4%)と増加したことやネットトレーディング利益が37.0億DKK(同+97.5%)と増加したことなどから増収となり、当期利益は212.6億DKK(同+56.2%)と大幅な増益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比横ばいの18.8%となっている。また、同行は2024年の利益見通しについて、ほぼ前年並みになるとしているほか、55億DKKの自社株買いを行うと発表した。</p>
2023/10/27	<p>ダンスケ銀行が27日に発表した2023年第3四半期決算は、ネットトレーディング収益が1.7億DKK(前年同期比▲65.4%)と減少したものの、ネット利息収入93.2億DKK(同+47.8%)と増加したほか、前年同期は罰金への引当金が含まれていたこともあり、当期利益53.1億DKKと黒字転換となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比0.7ポイント上昇の18.8%となっている。同行は、今期の業績は高金利環境による純金利収入の増加が主な原因であったと述べ、今後も中銀の利上げに基づき金利収入がさらに増加すると予想しているという。</p>
2023/7/21	<p>ダンスケ銀行が21日に発表した2023年第2四半期決算は、手数料収入が56.9億DKK(前年同期比▲12.9%)と減少したものの、ネット利息収入165.4億DKK(同+45.4%)と増加したほか、ネットトレーディング収入が27.7億DKK(同+766.2%)と大きく増加したことなどから、当期利益101.7億DKK(同+124.3%)と増益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比0.1ポイント上昇の18.1%となっている。</p>
2023/7/12	<p>Moody'sは11日、ダンスケ銀行の見通しを安定的からポジティブに変更した。金融犯罪の問題解決の見通しが立ち、不確実性が減少したことが背景である。</p>

本レポートは、Shinkin International (以下、「Shinkin International」と称します。)が、Shinkin Internationalの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにShinkin Internationalが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、Shinkin Internationalはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はShinkin Internationalの見解であり、変更される可能性があります。Shinkin Internationalは、本レポート中の見解または情報を見直す義務を負いません。

Shinkin Internationalおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2023/4/28	ダンスケ銀行が28日に発表した2023年第1四半期決算は、手数料収入が29.5億DKK(前年同期比▲12.5%)と減少したものの、ネット利息収入が80.2億DKK(同+43.4%)と増加したほか、トレーディング収入が16.1DDK(同+136.0%)と大きく増加したことなどから、当期利益は51.6億DKK(同+88.5%)と大幅増益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は前四半期末比0.2ポイント上昇の18.0%となっている。
2023/2/2	ダンスケ銀行グループが2日に発表した2022年通期決算は、ネット利息収入が251.8億デンマーククローネ(DKK)(前年比+14.2%)と増加したものの、手数料収入等が軟調だったほか、エストニア支店を通じたマネーロンダリングにかかる罰金への引当金として138億DKKを計上したことなどにより、当期利益は▲51.5億DKKと赤字決算となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.9ポイント上昇の17.8%となっている。
2022/12/14	英フィナンシャル・タイムズ紙は14日、ダンスケ銀行グループがマネーロンダリング疑惑を巡り銀行側の過失が認められ、米司法省およびデンマークの監督当局と20億ドル罰金の支払いに合意したと報じた。同行が2007～2015年にわたりエストニア支店を通じて、ロシアなどにいる高リスク顧客に資金洗浄を協力し、およそ2,000億ドル規模の資金が不正に米金融システムにアクセス可能な状況であったという。マネーロンダリングを巡る訴訟に対して10月に追加で19億ドルの引当金を計上した同行は、マネーロンダリング再発防止策を既に実施済である、と伝えた。
2022/10/28	ダンスケ銀行グループが28日に発表した2022年第3四半期決算は、ネット利息収入が63.0億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+13.9%)と増加したものの、保険ビジネスが軟調だったほか、エストニア支店を通じたマネーロンダリングにかかる罰金に対する引当金として140億DKKを追加で計上したことにより、当期利益は▲137.0億DKKと赤字決算となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.2ポイント低下の16.9%となっている。同日付の英フィナンシャル・タイムズ紙は、マネーロンダリング問題について同行と米当局との協議には不確実性が依然残っているが、同行は今年中の完了に向けて取り組んでいると強調していると報じた。
2022/7/22	ダンスケ銀行グループが22日に発表した2022年第2四半決算は、ネット利息収入が77.5億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+9.7%)と増加したものの、デンマークやスウェーデン債券市場におけるスプレッドのワイドニングを受けトレーディング収入が大きく低下したことで、当期利益は17.0億DKK(同▲36.4%)と増収減益決算となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.5ポイント低下の17.1%となっている。
2022/4/29	ダンスケ銀行グループが29日に発表した2022年第1四半期決算は、ネット利息収入が56.3億DKK(前年同期比+3.3%)と増加したが、トレーディング収益の大幅な減少により、当期利益は27.6億DKK(前年同期比▲8.5%)と減収減益決算となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.1ポイント低下の17.6%となっている。ロイター通信は28日、同行は2007～2015年にわたるエストニア支店を通じたマネーロンダリングの疑いでアメリカ、デンマーク、フランスおよびエストニアで調査を受け、膨大な罰金が発生する可能性があるかと警告したと報じている。

本レポートは、信金インターナショナル（以下、「信金インター」と称します。）が、信金インターの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびに信金インターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、信金インターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上等のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解は信金インターの見解であり、変更される可能性があります。信金インターは、本レポート中の見解または情報を更新する義務を負いません。

信金インターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2022/2/3	ダンスケ銀行グループが3日に発表した2021年通期決算は、ネット利息収入が220.4億デンマーククローネ(DKK)(前年比▲0.4%)と減少したものの、手数料収入が135.2億DKK(同+10.7%)と増加したほか、新型コロナウイルス感染拡大等に関連した引当費用の縮小を受け、当期利益は124.6億DKK(同+208.7%)と減収増益決算となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.4ポイント低下の17.7%となっている。
2021/10/29	ダンスケ銀行グループが29日に発表した2021年第3四半期決算は、ネット利息収入が67.2億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比▲3.4%)、ネットトレーディング収入が43.1億デンマーククローネ(DKK)(同▲53.6%)と減少したものの、手数料収入等の増加に相殺されたことで横ばいの収益となった。また、新型コロナウイルスの感染拡大等に関連した引当金の影響が剥落したことなどから、当期利益は32.1億DKK(同+61.9%)と増益決算となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.1ポイント上昇の18.1%となっている。なお同行は、コンプライアンス関連コストの高まり等を理由として、2023年までの収益目標を下方修正している。
2021/7/23	ダンスケ銀行グループが23日に発表した2021年第2四半期決算は、ネット利息収入が70.6億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比▲6.8%)と減少したものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う引当費用が剥落したことを受け、当期利益は26.7億DKK(同+21.4%)と減収増益決算となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.1ポイント低下の18.0%となっている。
2021/4/29	ダンスケ銀行グループが28日に発表した2021年第1四半期決算は、ネット利息収入が65.5億DKK(前年同期比+4.6%)と増加したほか、手数料等のその他収入の増加や新型コロナウイルスにかかる引当金の減少などから、当期利益は30.2億DKKと前年同期の赤字決算から黒字転換する結果となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.2ポイント低下の18.1%となっている。
2021/2/4	ダンスケ銀行グループが4日に発表した2020年通期決算は、ネット利息収入が218.7億デンマーククローネ(DKK)(前年比▲0.0%)と横ばいとなったものの、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた引当金計上額の増加等を受け、当期利益は40.3億DKK(同▲71.7%)と大幅な減益決算となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.1ポイント上昇の18.3%となっている。同日付のロイター通信は、同行を巡るマネーロンダリング問題の処理は最終段階に入ったほか、来年は引当金等のコストの減少が見込まれるため、利益の向上が予想されるとの見方を報じた。
2020/11/4	ダンスケ銀行グループが4日に発表した2020年第3四半期決算は、ネット利息収入が69.6億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+1.9%)と増加したものの、事業改革やマネーロンダリングを巡るコストの計上等により、当期利益は19.8億DKK(同▲29.4%)と増収減益決算となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.6ポイント上昇の18.2%となっている。
2020/7/17	ダンスケ銀行グループが17日に発表した2020年第2四半期決算は、ネット利息収入が55.1億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+2.5%)と増加したものの、新型コロナウイルスの感染拡大等を受けて多額の引当金を計上したことから、当期利益は22.0億DKK(同▲42.5%)と増収減益決算となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比変わらずの17.6%となっている。

本レポートは、株式会社インテリジェント（以下、「インテリジェント」と称します。）が、インテリジェントの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにインテリジェントが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、インテリジェントはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はインテリジェントの見解であり、変更される可能性があります。インテリジェントは、本レポート中の見解または情報を更新する義務を負いません。

インテリジェントおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2020/4/30	<p>ダンスケ銀行グループが30日に発表した2020年第1四半期決算は、ネット利息収入が54.7億DKK(前年同期比▲0.7%)と減少したほか、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて多額の引当金を計上したことなどから、当期利益は▲12.8億DKKと前年同期(29.8億DKK)から一転して赤字決算となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.3ポイント上昇の17.6%となっている。同日付のフィナンシャル・タイムズ紙は、同行は新型コロナウイルスの影響で前年同期の10倍以上の引当金を計上する中、今年の収益目標を大幅に引き下げたと伝えている。</p>
2020/2/5	<p>ダンスケ銀行グループが5日に発表した2019年通期決算は、ネット利息収入が218.7億デンマーククローネ(DKK)(前年比▲7.1%)、当期利益は150.7億DKK(同▲0.6%)と減収減益決算となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.9ポイント上昇の17.3%となっている。同日付の英フィナンシャル・タイムズ紙は、マネーロンダリング問題とマイナス金利環境が引き続き業績の重石になると見込まれるため、2020年の利益は2019年のおよそ半分の水準にまで落ち込むおそれがあると伝えている。</p>
2019/12/11	<p>格付会社ムーディーズは10日、ダンスケ銀行の格付「A2」を「A3」に引き下げ、見通しを「安定的」とした。収益の見通しがこれまでの予想を大幅に下回ることが想定されるほか、マネーロンダリングを巡る一連の問題が引き続き重荷となっていることなどを格下げの理由としている。</p>
2019/11/4	<p>デンマーク・ダンスケ銀行グループが1日に発表した2019年第3四半期決算は、ネット利息収入が54.4億DKK(前年同期比▲6.9%)と減少した一方で、引当金の縮小等により費用が減少したことなどから、当期利益は28.1億DKK(同+22.7%)と減収増益決算となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.2ポイント低下の16.4%となっている。同日付の英フィナンシャル・タイムズ紙は、デジタル化やマネーロンダリング問題を巡るコストの増加等を受け、同行は今年2度目となる業績見通しの引き下げを行っている一方、債券・為替部門の人材削減等によりコスト削減を進める旨を併せて示している点を指摘して報じた。</p>
2019/7/18	<p>デンマーク銀行大手ダンスケ銀行グループが18日に発表した2019年第2四半期決算は、スウェーデンの年金事業売却益(13億デンマーククローネ(DKK))計上はあったものの、ネット利息収入が53.7億DKK(前年同期比▲8.6%)と減少したほか、トレーディング業務の減収やマネーロンダリング問題を巡る規制対応コストの増加等を受け、当期利益は38.3億DKK(同▲6.7%)と減益決算となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.1ポイント低下の16.6%となっている。</p>
2019/4/12	<p>ブルームバーグは12日、デンマーク政府当局が、ダンスケ銀行がマネーロンダリングに関与したという問題を巡り、大手会計事務所アーンスト・アンド・ヤング(EY)が疑わしき取引についてしかるべき警告を行わなかったとして、警察当局に報告したと報じた。問題のマネーロンダリングは2007年から2015年の間に行われたとされ、EYは2014年から同行の会計監査を担当していたという。</p>
2019/2/19	<p>ブルームバーグは19日、ダンスケ銀行のマネーロンダリング問題を巡り、エストニアとデンマークの金融監督当局が、マネーロンダリングを防ぐための十分な措置を講じていたかについて、EU当局から公式に調査を受けることになったと報じた。同時に、エストニア当局は同行に対して、同国内の拠点を閉鎖するよう命じ、向こう8か月以内に預金の返却や資産の移転を行うよう指示したという。</p>

日付	ニュース
2019/2/1	デンマーク銀行大手ダンスケ銀行グループが1日に発表した2018年通期決算は、ネット利息収入が235.7億デンマーククローネ(DKK)(前年比▲0.9%)、当期利益は150.0億DKK(同▲28.2%)と減収減益決算となった。トレーディング収入が減少したほか、マネーロンダリングを巡る問題が業績にネガティブな影響を与えたという。普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.6ポイント上昇の17.0%となっている。
2018/11/29	英フィナンシャル・タイムズ紙は28日、デンマークのダンスケ銀行が、総額2,000億ユーロにも上るマネーロンダリングに関与した疑いで、同国の検察当局から刑事告訴されたと報じた。疑わしい取引の報告を怠るなど、管理体制が不十分だった責任などが問われているという。
2018/11/20	英フィナンシャル・タイムズ紙は19日、デンマークのダンスケ銀行がマネーロンダリングに関わったとされる問題について、疑わしい資金のうち1,500億ドルほどがドイツ銀行の米国拠点を經由して流れたと報じた。本件の内部告発を行った人間からの情報で、同氏は経由地となった金融機関名を明らかにしなかったものの、事情に詳しい関係者への取材からその金融機関がドイツ銀行であることが明らかになったという。ドイツ銀行はコメントを控えている。
2018/11/8	英フィナンシャル・タイムズ紙は8日、欧州委員会が、ダンスケ銀行のマネーロンダリングを巡る一連の問題を受けて、デンマーク、ラトビアおよびエストニアにおいて、マネーロンダリング対策が適切に行われているか詳しく調査を行うことを決定したと報じた。同委員会がこのような調査権限を行使することは初めてだという。なお、同委員会は同時に、マルタに対しマネーロンダリング対策を厳格化するための行動をとることを命じたという。
2018/11/1	デンマーク銀行大手ダンスケ銀行グループが1日に発表した2018年第3四半期決算は、ネット利息収入が58.5億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比▲3.3%)、当期利益は24.8億DKK(同▲49.7%)と減収減益決算となった。エストニア事業におけるマネーロンダリングを巡り、同国事業における収益15億DKKを寄付したことによるコスト増加などが要因だという。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.5ポイント上昇の16.4%となっている。
2018/10/12	格付会社ムーディーズは12日、デンマーク銀行大手・ダンスケ銀行の発行体格付を「A1」から「A2」に引き下げ、見通しを引き続きネガティブとした旨発表した。同行がマネーロンダリングを巡る一連の問題を受けて、米司法当局等から捜査を受けており、罰金が発生する可能性が高いことや、今後業績等に及ぼす影響について不透明感が高まっていることなどが主な理由だという。
2018/10/8	ブルームバーグは5日、デンマーク金融監督当局がダンスケ銀行に対し、追加で資本を積み増すよう求めたと報じた。今回の追加資本要請額は50億デンマーク・クローネ(DKK)で、マネーロンダリング問題を巡り5月以降に要請された追加資本は総額100億DKKに上るといふ。なお、追加資本の要請は罰金の支払いに備えるためではなく、評判の悪化に伴うレピュテーションリスクに備えるためだという。
2018/10/4	英フィナンシャル・タイムズ紙は4日、ダンスケ銀行が、マネーロンダリングを巡る一連の問題を受けて、米司法当局から捜査を受ける予定だと報じた。同行は捜査に全面的に協力する姿勢であることを表明するとともに、捜査結果について推測するにはまだ早い段階だという考えを示している。

本レポートは、株式会社シinkinインターナショナル（以下、「シinkinインター」と称します。）が、シinkinインターの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにシinkinインターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、シinkinインターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はシinkinインターの見解であり、変更される可能性があります。シinkinインターは、本レポート中の見解または情報を見直す義務を負いません。

シinkinインターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2018/10/1	<p>英フィナンシャル・タイムズ紙は1日、マネーロンダリングを巡る問題を受けて、ダンスケ銀行の幹部らがCEOのボーゲン氏に速やかな辞職を迫り、同氏がCEOとしての職務を完全に退いたと報じた。同氏は先月、辞任する旨を既に表明していたものの、後任が定まるまではCEOとして留まる考えを示していた。しかしながら、問題の重大さを受け、可及的速やかな辞職が望ましいという結論に至ったという。新たなCEOが決まるまでは他の人間が暫定的にCEOの職務を担うという。</p>
2018/9/24	<p>・格付会社ムーディーズは21日、デンマーク銀行大手・ダンスケ銀行の格付見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げたと発表した。同行がエストニアの拠点でマネーロンダリングに関わったとされる問題について、追加的な捜査や罰金などに見舞われる可能性があることなどを見通し引き下げの理由としている。 ・ブルームバーグは24日、S&Pが、ダンスケ銀行のマネーロンダリング問題を受けて、デンマークの格付「AAA」に格下げのリスクがあると警告したと報じた。同社は14日付のレポートで警告を行っていたが、内部調査結果の公表などここもとの動きを考慮しても見方は依然変わっていないという。同国議会は同社の警告を重要視し、マネーロンダリング対策をはるかに厳格する法案を急遽可決するなど、格付維持に向けた努力を行っているという。</p>
2018/9/20	<p>英フィナンシャル・タイムズ紙は20日、デンマーク銀行大手・ダンスケ銀行の株主らが、同行がエストニアの拠点でマネーロンダリングに関わったとされる問題について、先日公表された内部調査とは別に、独自の調査を新たに実施することを検討していると報じた。株主らを代表する団体によると、内部調査では何ら真実が明かされておらず、経営陣が関与しない第三者による調査が必要だとしている。同行はコメントを控えているという。</p>
2018/9/19	<p>英フィナンシャル・タイムズ紙は19日、デンマーク銀行大手・ダンスケ銀行が、エストニアの拠点でマネーロンダリングに関わったとされる問題について内部調査結果を公表し、同行の責任を認めるとともに同行のボーゲンCEOが引責辞任することを明らかにしたと報じた。問題の取引は2007年から2015年の間に行われたとされ、同CEOは2009年から2012年にかけて国際銀行業務の責任者、2013年からCEOを務めていた。エストニアの拠点を通じた非居住者からの資金の流れは2,000億ユーロにも上るとされるが、その中の疑わしい取引の金額については未だ算定できていないという。</p>
2018/7/18	<p>デンマーク銀行大手ダンスケ銀行グループが18日に発表した2018年第2四半期決算は、ネット利息収入が58.7億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+1.6%)と増加したものの、トレーディング業務からの収益が減少したことなどから、当期利益は42.3億DKK(同▲11.6%)と増収減益決算となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.5ポイント低下の15.9%となっている。</p>
2018/7/4	<p>ブルームバーグは4日、デンマーク銀行大手・ダンスケ銀行が、エストニアの拠点において、約530億デンマーククローネ(約83億ドル)のマネーロンダリングに関わった疑いがあると報じた。2007年から2015年の間に行われたとされる問題のマネーロンダリングは、現在、内部調査が行われている最中であり、その金額はこれまでは約250億デンマーククローネ程度と見積もられていた。今回、新しい証拠が出てきたことから金額が大幅に増加したという。内部調査の結果は今年9月に公表される見込みだという。</p>

本レポートは、株式会社シinkinインターナショナル（以下、「シinkinインター」と称します。）が、シinkinインターの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにシinkinインターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、シinkinインターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はシinkinインターの見解であり、変更される可能性があります。シinkinインターは、本レポート中の見解または情報を更新する義務を負いません。

シinkinインターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2018/4/26	デンマーク・ダンスケ銀行グループが26日に発表した2018年第1四半期決算は、ネット利息収入が59.4億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+1.4%)と増加したものの、トレーディング収入の減少などにより、当期利益は48.7億DKK(同▲11.9%)と増収減益決算となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比1.2ポイント低下の16.4%となっている。
2018/4/6	格付会社S&Pは5日、デンマーク・ダンスケ銀行の長期発行体格付を「A」で据え置き、見通しを「安定的」から「ポジティブ」に引き上げた。デンマーク金融当局がMREL規制(TLAC規制と同様のEU圏内の規制)についての指針を発表したことを受け、同行が同規制への対応を図ることで信用力が改善すると見込まれるためだという。
2018/2/2	デンマーク・ダンスケ銀行グループが2日に発表した2017年通期決算は、ネット利息収入は298.6億デンマーククローネ(DKK)(前期比▲7.6%)と減少したものの、トレーディングや保険関連事業が好調だったことから、当期利益は201.1億DKK(同+4.8%)と減収増益決算となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.9ポイント上昇の17.6%となっている。
2017/11/3	デンマーク・ダンスケ銀行グループが3日に発表した2017年第3四半期決算は、ネット利息収入が59.6億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+8.5%)、当期利益が49.3億DKK(同+0.5%)と増収増益決算となった。トレーディング収入が減少した一方、不動産価格の上昇を背景に貸倒引当金の計上額が減少したことが功を奏した結果となった。なお、普通株等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.5ポイント上昇の16.7%となっている。
2017/10/12	デンマーク・ダンスケ銀行は11日、2008年から2011年にかけて、エストニアで1,500万ユーロ相当のマネーロンダリングを行った疑いで、フランスの司法当局から取り調べを受けていることを明らかにした。
2017/8/17	米格付会社ムーディーズは16日、デンマーク・ダンスケ銀行の無担保優先債務格付を「A2」から「A1」に引き上げ、見通しを引き続き「ポジティブ」とした。同行の資産の質や収益性が向上したことなどを格上げの理由としている。
2017/7/20	デンマーク・ダンスケ銀行が20日に発表した2017年第2四半期決算は、ネット利息収入が56.9億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比3.7%増加)、当期利益が45.9億DKK(同7.9%増加)の増収増益決算となった。デンマークの不動産価格の上昇を背景として、貸出関係の減損損失が減少したことなどが功を奏したという。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比0.7ポイント上昇の16.2%となっている。
2017/4/28	デンマーク・ダンスケ銀行が28日に発表した2017年第1四半期決算は、ネットトレーディング収益が27.0億デンマーククローネ(DKK)(前年同期比+69.4%)と増加したこと等を受け、当期利益は53.3億DKK(同+11.5%)と増収増益となった。なお、普通株式等Tier1(CET1)比率は、前四半期末比▲0.8ポイントの15.5%となっている。
2017/2/2	デンマーク・ダンスケ銀行が2日に発表した2016年通期決算は、ネット受取利息が32,329百万デンマーククローネ(前期比3.0%減少)と減少したものの、当期利益は19,858百万デンマーククローネ(同1.5%増加)と増益を確保した。トレーディング収益が増加したほか、一時的な減損等の費用が剥落したことから、総じて良好な決算となった。なお、コア資本Tier1(CET1)比率は、16.3%と前四半期(15.8%)より上昇している。

本レポートは、株式会社シinkinインターナショナル（以下、「シinkinインター」と称します。）が、シinkinインターの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにシinkinインターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、シinkinインターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はシinkinインターの見解であり、変更される可能性があります。シinkinインターは、本レポート中の見解または情報を見直す義務を負いません。

シinkinインターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2016/10/28	デンマーク金融機関のダンスケ銀行が公表した2016年第3四半期決算は、トレーディング収入や保険収入の増加に伴い、当期純利益が前年同期比33%増の49.0億ユーロとなった。なお、同行のバーゼルⅢ普通株式等Tier1比率は、前四半期末から変わらず15.8%となっている。
2016/10/12	米格付会社ムーディーズは12日、資産の質や収益率の改善を受け、ダンスケ銀行の外貨建長期銀行預金を「A2」から「A1」に引き上げた。ただ、長期格付は「A1」で据え置いた他、見通しも引き続き「ポジティブ」としている。
2016/7/21	デンマークの金融機関ダンスケ銀行が公表した2016年第2四半期決算は、貸倒引当金戻入額の減少を受け、当期純利益が前年同期の44.6億デンマーク・クローネ(DKK)から1%減の44.1億DKKとなった。なお、同行のバーゼルⅢ普通株式等Tier1比率は2015年末の16.1%から0.3ポイント低下し15.8%となっている。
2016/4/29	デンマークの金融機関ダンスケ銀行が公表した2016年第1四半期決算は、手数料およびトレーディング収益の減少を経費削減で補ったことから、当期純利益が前年同期比ほぼ横ばいの49.4億デンマーククローネ(DKK)となった。また、同行のバーゼルⅢ普通株式等Tier1比率は、2015年第4四半期末の14.0%から1.0ポイント増の15.0%となっている。
2016/2/3	デンマークのダンスケバンクが公表した2015年通期決算は、フィンランド、北アイルランド、エストニア事業に伴うのれん費用の減少(前期比49%減)や貸倒引当金の減少等に伴い、当期純利益が前年同期の36.8億デンマーク・クローネ(DKK)から3倍超の125.1億DKKとなった。なお、同行のバーゼルⅢ普通株式等Tier1比率は2014年12月末の15.1%から1ポイント増の16.1%となっている。
2015/10/29	デンマークのダンスケ銀行が公表した2015年第3四半期決算は、貸倒引当金の戻入に伴い当期純利益が前年同期の32.7億ユーロから12%増の36.6億ユーロとなった。貸倒引当金戻入前の利益は、トレーディング部門に伴う損失の計上及び金利収支の減少(同5%減)に伴い46.9億ユーロ(同11%減)となっている。なお、同行のバーゼルⅢ普通株式等Tier1比率は、2015年第2四半期末の14.3%から1.4ポイント増の15.7%となった。
2015/7/23	デンマークのダンスケ銀行が公表した2015年中間決算は、当期純利益が前年同期の69.2億デンマーククローネ(DKK)から36%増の94.1億DKKとなった。手数料収支の増加(同17%増)、減損費用の減少(77%減)等が主な増益要因となっている。また、同行のバーゼルⅢ普通株式等Tier1比率は2014年12月末の19.1%から1.4ポイント減の17.7%となった。
2015/4/30	デンマーク金融機関ダンスケが公表した2015年第1四半期決算は、当期純利益が前年同期の27.9億ユーロから72%増の48.3億ユーロとなった。投資運用収支やトレーディング業務に伴う収益の増加が主な増益要因となっている。また、同行のバーゼルⅢ普通株式等Tier1比率は2014年12月末の15.1%から1ポイント減の14.1%となった。
2015/2/3	デンマーク金融機関ダンスケが、公表した2014年通期決算は、フィンランド、北アイルランド、エストニア事業に係るのれん減損費用90億DKKの計上に伴い、当期純利益が前年の71億DKK(デンマーククローネ)から45%減の38億DKKとなった。なお、特別費用を除いた当期純利益は、営業費用の減少(同15%減)、投資銀行部門に伴う収益の増加(同19%増)、貸倒引当金の減少(同31%減)が主な要因となり、129億DKK(同81%増)となっている。また、同行のバーゼルⅢ普通株式等Tier1比率は、2014年6月末から0.7ポイント増の15.1%となった。

本レポートは、株式会社シinkinインターナショナル（以下、「シinkinインター」と称します。）が、シinkinインターの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにシinkinインターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、シinkinインターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はシinkinインターの見解であり、変更される可能性があります。シinkinインターは、本レポート中の見解または情報を更新する義務を負いません。

シinkinインターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2014/11/28	<p>米格付会社ムーディーズは、ダンスケ銀行の長期発行体格付けをBaa1からA3に引き上げた。なお、見通しは引き続き「安定的」としている。同社は、格付引き上げの要因として、好調なグループの営業収益率が続いていること、非中核事業の信用力の回復、不動産金融業務の借換えリスクの減少、同行の主要市場であるデンマークでの営業収益の安定などを挙げた。また、同社は、今後、不動産金融業務の借換えリスクの更なる減少や利益の変動性リスクの減少があれば更なる格上げの可能性もあるとしている。</p>
2014/7/24	<p>デンマーク金融機関ダンスケが、公表した2014年上半期決算は、当期純利益が前年同期の36億DKK(デンマーククローネ)から87%増の68億DKKとなった。本業の金利収支は減少(同7%減)したものの、手数料収支の増加(同11%増)、営業費用の減少(同3%減)、前年同期に不安定なマーケットが原因で減少していた大企業・法人部門の回復等が主な増益要因となった。また、同行のバーゼルⅢ普通株式等Tier1比率は、2013年度末から0.3ポイント減の14.4%となっている。</p>
2014/4/30	<p>米格付会社S&Pは、デンマークのダンスケ銀行の発行体格付けをA-からAに引き上げた。なお、格付見通しについては「安定的」から「ネガティブ」に引き下げた。同社は、格付引き上げの主な要因として、アイルランド向け資産におけるリスクの軽減等を挙げた。また、見通し「ネガティブ」の理由として、監督当局が破産処理メカニズムの整備を行っているため、政府による支援の可能性が低下する可能性があるためとしている。</p>
2014/2/6	<p>ダンスケ銀行グループが公表した2013年度通期決算は、トレーディング収支と保険事業収支の減少が影響し、営業収支は前期比25%減となったものの、貸倒引当金の45%減少が貢献し、当期純利益は同51%増の71.2億デンマーククローネ(DKK)であった。なお、ダンスケ銀行単体の当期純利益は同52%増の78.0億DKKとなった。グループ通期の税引前利益を部門別に比較すると、パーソナルバンキング部門においては、営業収入が前年度レベルに留まったものの、人件費と貸倒引当金の減少が貢献して64%の増益となった。ビジネスバンキング部門では融資の需要が伸びず収入は前年度レベルに留まったものの、貸倒引当金の減少により55%の増益となった。一方、法人部門と保険事業は45-50%の減益であった。なお、同グループのCRDIV基準コアTier1比率は14.7%と前年比で0.2ポイント上昇した。銀行単体でのTier1比率は18.9%で前年比0.4ポイントの低下であった。また流動性カバー比率は127%に上昇した。2014年度の見通しとして、全部門における収入の増加により純利益90-120億DKKを見込んでいるとのこと。</p>
2014/1/14	<p>ダンスケ銀行のCEOは、業務終了後のインタビューで、顧客ニーズの変化から事業縮小を行ってきたが、2014年は店舗の閉鎖を行わない見通しであり、2008年以來の復配を検討するかもしれないと答えたと報じられた。なお同行の支店閉鎖数は、2012年で145店舗、2013年は3Qまでで107店舗となっている。</p>

日付	ニュース
2013/12/11	<p>格付会社ムーディーズは、デンマークのダンスケ銀行（DanskeBankA/S）の長期債務格付Baa1、短期債務格付P-2を含む全ての格付を据置くとともに、発行体格付、長期預金格付、外貨建てのシニア債・劣後債務格付、および外貨建て優先株式格付の見通しを安定的からポジティブに上げた。格付が据置かれた理由としては、同行がデンマークと北アイルランドの市場において最大手の地位を確保していること、またフィンランド、スウェーデン、ノルウェーでも確固たる地盤を得ていることが評価された。一方、見通しが上げられた理由としては、利益率が向上しつつあること、同じ地盤における他行との差異を縮めつつあること更に資本レベルとリスクプロファイルが良好であることを挙げた。アイルランドにおける高いクレジットコストとデンマーク市場の厳しい状況下で、過去数年は利益率が低下していたものの、非中核事業資産の減少とデンマーク市場の回復を受けて、今後は利益率も上昇傾向が続くことをムーディーズは期待しているとのこと。今後の格付変更の可能性としては、格上げの方がより可能性が高いとしている。</p>
2013/11/20	<p>ダンスケバンクは、250人の追加削減を行なうと発表した。対象となるのは、本社の従業員や窓口業務担当者以外の職員。同行は、約2万人の従業員を抱えている。同行は、2015年までにグループ全体で2,000人削減するとの計画を発表しており、本件はその一環。</p>
2013/10/31	<p>ダンスケ銀行グループが公表した2013年の第3四半期決算は、当期純利益が1.5億デンマーククローネと前年同期比17%の増益であった。第1-3四半期通期では、当期利益は5.2億デンマーククローネで前年同期比で45%の増益となった。営業収益は減少したものの、貸倒引当金の47%減少と非中核事業からの損失の70%減少が寄与した。営業収益の15%減収はトレーディング収支と保険事業収益の減少によるもの。部門別では、法人部門で債券市場の低迷を受けてトレーディング収支が半減したことにより減収となった他、生命保険年金部門のDanica Pensionも62%の減収であった。その他の部門は軒並み50%以上の増益と好調であった。なお、同行のTier1比率は18.3%と前期比で1.3ポイント上昇した。コアTier1比率は14.2%で前期比1.5ポイントの上昇であった。同行はまた、アイルランド事業の再編を行い、法人部門のみに注力すると発表した。パーソナルバンキングとビジネスバンキングの新規顧客受入は即日中止し、既存顧客は非中核部門で引継ぐ。これを受けて、2013年通期の純利益見通しを65-90億デンマーククローネから60-80億デンマーククローネに引き下げた。</p>
2013/10/23	<p>ECBIは欧州の大手銀行に対して実施する金融機関総合審査の概要を発表した。発表によると、審査は単一銀行監督システム実施の一環として行われるもので、銀行内部情報の透明性の強化、問題の特定と是正措置の構築、これらにより健全性と株主の信頼を回復することを目的として、11月に開始され12か月かけて実施する。内容はリスク管理審査、資産の質の評価、及びストレステストの3分野に渡る。審査は普通株式等Tier1資本8%をベンチマークとする。ストレステストの詳細に関しては、欧州銀行監督局(EBA)との調整の元、後ほど改めて発表されるとのこと。審査は単一銀行監督システムに参加する各国の所轄官庁の協力のもとに行われる。総合審査の対象となる金融機関は124行。フィンランド： - Nordea Bank Finland Plc - OP-Pohjola Group - Danske Bank</p>

本レポートは、Shinkin International [以下、「Shinkin International」と称します。] が、Shinkin Internationalの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにShinkin Internationalが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、Shinkin Internationalはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はShinkin Internationalの見解であり、変更される可能性があります。Shinkin Internationalは、本レポート中の見解または情報を更新する義務を負いません。

Shinkin Internationalおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2013/10/9	デンマーク議会の銀行規制監督グループは、システム上重要な金融機関(SIFI)の規制案における自己資本の上積み規制について、当初案の3.5%から3%に減少させて合意したことを明らかにした。これによると、同国の銀行は、2012年のリスク加重資産に基づき3%の追加的自己資本を要求されることになる。これはEUの要求と同水準である。同案が可決されれば、デンマークはスウェーデンに続き、EU諸国の中で、EUより先に独自の追加資本をSIFIに設定した国となる。デンマークのSIFIにはダンスケ銀行が含まれている。
2013/10/3	ダンスケ銀行と、スウェーデンのスカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケン(SEB)が合併の可能性について協議に入っていると、スウェーデンの毎日経済紙ダーゲンズ・インダストリが報じた。SEBの株式を20%保有する投資家は、SEBの規模が小さいために同じスウェーデンのノルデアバンクに対する競争力がないと述べたとのこと。同2行の合併の噂は2011年11月にも上がっていた。ダンスケ銀行、SEB、株式を20%保有する投資家のいずれもコメントを拒否しており、詳細は不明である。
2013/9/23	ダンスケ銀行は、将来的な資本規制の強化に備えて、Tier2のベンチマーク債をユーロ建て発行すると発表した。内容は期間10年物の債券で、5年目以降は額面価格に対しての前払いオプションが付与されている。
2013/9/18	ダンスケ銀行は、CEOのエイビンド・コールディング氏を解雇したと報じられた。同氏が昨年2月に、前職のAPモラー・マークスでのコンテナ海運部門のトップから、同行にCEOとして迎えられてからわずか2年足らず。後任には法人部門の責任者であるトーマス・ボーゲン氏が着任する。コールディング氏の専門性や個人的資質に問題はないものの、現在の局面においては銀行業務における経験がより豊富な人物がトップに必要であると、アンダーセン会長は説明した。
2013/8/1	ダンスケ銀行グループが公表した2013年上半期決算は税引後当期純利益が3.7億デンマーククローネで前年同期比60.8%の増益となった。トレーディング収支が減少した分を、貸倒引当金の減少分が補う形となった。また、融資総額は3%減少した一方で、預金総額は前期末とほぼ同レベルを維持した。部門別では、リテール部門で3.3倍の増益、ビジネス・バンキング部門で2.6倍の増益と好調であった一方で、大企業・法人部門では6月にマーケットが不安定であったことが原因でトレーディング収支が減少、税引前利益は前年同期比で半減した。なお、同行のコアTier1比率は15.6と前年同期比で3.5ポイント上昇した。同行は今回の決算を受け、通期の利益目標を75-100億デンマーククローネから65-90億デンマーククローネに引き下げた。
2013/6/18	ダンスケ銀行がリスク加重資産を過小評価していたとして、同国の金融監督庁(FSA)は内部モデルを見直すよう同行に命じたことが公表された。声明によると、同行はリスク加重資産の13%に相当する約1,000億デンマーククローネを徐々に加算していくことになる。同行はこれに対し不服を申し立てる意向を示している。

本レポートは、株式会社シinkinインターナショナル（以下、「シinkinインター」と称します。）が、シinkinインターの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにシinkinインターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、シinkinインターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はシinkinインターの見解であり、変更される可能性があります。シinkinインターは、本レポート中の見解または情報を見直す義務を負いません。

シinkinインターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2013/5/3	<p>ダンスケ銀行が公表した2013年第1四半期決算は、当期純利益が15億7,200万デンマーククローネと前年同期比89%の増益となった。コア事業のみの税引前純利益では、27億6,500万デンマーククローネで9%の増益。前年同期にトレーディング収支が例外的な増益を記録していたことと今期の市場環境の低迷を背景に、金利収支とトレーディング収支が減少したものの、一方で貸倒引当金が50%減少したことが寄与した。コア事業については、大企業・法人部門で税引前利益が上記のトレーディング収支由来で減益となった一方で、その他全ての事業では大幅な増益であった。非コア事業の処理については、アイルランドの商業不動産事業における引当金の減少に伴って著しく進捗した。営業コストは7%の減少、2012年11月にダンスケ銀行ブランドに統合されたサンポ銀行の前年の評価損が今期は剥落したことによる。なお、同行のコアTier1比率は15.1%と前年同期比で3.1ポイント上昇した。昨年10月に実施した株式資本による増資が0.9ポイント押し上げた。同行は、年度の立ち上がりとしてコア事業の利益は予想を下回ったとしながらも、2013年の経営計画は継続すること、今年度の純利益目標は75-100億デンマーククローネのレンジ内で維持すると確認した。</p>
2013/2/7	<p>ダンスケ銀行が公表した2012年第4四半期決算は、当期純利益が11億4,600万デンマーククローネと前年同期比473%の増益となった。一方通期ベースでは、当期純利益は47億4,900万デンマーククローネと前年同期比176%の増益であった。価格設定におけるイニシアチブにより金利収支が増益であったものの、全般的な金利レベルの低下により相殺され、営業利益は476億8,500万デンマーククローネと前年比10%の増益。一方で、営業コストは前年比2%と微増に留まり、また貸倒引当金は年間を通じて漸減して125億2,900万デンマーククローネとなり前年比で5%減少。結果として大幅増益につながった。また、アイルランドにおける評価損にかかる課税分の計上漏れを追加計上したため、支払税額が38億1,900万デンマーククローネと前年度比50%増になっている。部門別では、銀行部門において、ECBと北欧各国における低金利政策対策として、貸付利ざや調整したことにより金利収支は前年比6%増益となった。特にノルウェーとスウェーデンで好調。資本市場部門においては、法人顧客がユーロから北欧通貨への退避が活発だった傾向がポジティブ要素となり、債券、デリバティブ、為替取引が好調であった。なお、同行のコアTier1比率は14.5%と前年同期比で2.7ポイント上昇し、2012年度の同行の目標13%を達成した。流動性カバレッジ比率は121%でバーゼルⅢの要求基準をすでに達成している。同行はまた、2012年度については無配とし、2015年までの経営計画New Standardsにおける資本比率と格付け回復の目標が達成され次第、純利益の40%の配当を再開すると発表している。</p>

日付	ニュース
2012/10/30	<p>ダンスケ銀行が公表した2012年1-9月期決算は、純利益が36.03億デンマーク・クローネと前年同期比で倍以上の増益となった。（第3四半期決算：純利益13.17億デンマーク・クローネ、前年同期比の赤字からの黒字転換）増益の要因として、金利収支が前年同期比9.33%の増収となったこと、前年度第3四半期にトレーディング部門および保険部門における大幅な損失を計上した一方で、今期は金融市場における取引環境が改善したことによるトレーディング収支の増収を挙げた。グループ収益はデンマーク国内における低金利環境の影響を受けたが、市場環境が改善したこと、コスト管理を厳格に行ったことが功を奏し、ローン損失引当前利益は前年同期比で35.33%の増益となるなど最終利益に貢献した。ローン損失引当額は前年同期比18.03%の増加となったが、昨年第4四半期から計上額は減少しているとのこと。アイルランドのノンコア部門における商業不動産部門、コーポレート法人部門の船舶部門およびデンマークのリテール部門への引当が増加したことによる。また、同行は、経営戦略計画も発表しており、同行が事業を行う地域におけるユニバーサル・バンクとしての地位を確固たるものとし、アセット・マネジメント事業のダンスケ・キャピタル、生命保険・年金事業のDanicaの付加価値を高めること、グループを通じた事業のデジタル化、バンキング業務の自動化などを進めること、資本目標の達成のために70億デンマーク・クローネの増資を行うこと、2013年末までにコア資本比率を13%までに引き上げることなどを盛り込んだ。また、人員削減については、これまでに発表していた2012年までの1000人規模の削減に加え、2013年から2015年にさらに1000人を削減すると発表した。これに伴う費用は260億デンマーク・クローネを見込むとのこと。</p>
2012/8/7	<p>ダンスケ銀行が公表した2012年上期決算は、22.86億デンマーク・クローネと前年同期比19.87%の増益となった。増益要因として低金利環境においても本業収入である金利収支、トレーディング収支共に堅調で、前年同期比でそれぞれ9.27%、4.87%の増益となったこと、保険業務からの収益が投資からの収益率が上昇したことなどから2倍以上に増加したこと、営業コストが縮小したことが貢献した。一方で、貸倒引当金が大幅に増加したことを要因として挙げた。アイルランド、北アイルランドにおける商業不動産部門および船舶部門の悪化が響いた。なお、同行のTier 1 比率は16.2%と前年比0.2ポイントの減少、コアTier1比率は12.1%と前年末比0.2ポイントの減少となった。</p>

日付	ニュース
2012/5/31	<p>格付会社ムーディーズは、2月15日付で行われている欧州の金融機関の格付見直しに伴い、デンマークのダンスケ銀行を含む北欧の金融機関の格付に対し1～3段階の格下げを行ったと発表した。格下げ内容は以下のとおり。短期格付は「P-2」となった。</p> <p style="text-align: center;">変更前 変更後 格付見通し</p> <p>ダンスケ銀行 A2 ⇒ Baa1 「安定的」</p> <p>格下げ要因として、(1) 厳しい経営環境、資産の質および収益性の低下、および(2) 資金調達状況において市場での資金調達依存度が高いことを挙げた。厳しい経営環境について、デンマークの金融機関は、引き続きユーロ圏債務危機からの外的影響のリスクはもちろんのこと、国内経済の低迷、不動産価格の低下、失業率の上昇などのネガティブ要因に直面しており、資産の質の悪化につながっているとした。また、収益性の低下によりこのような経営環境において損失吸収能力が低下しているとした。デンマークにおける市場アクセスではカバードボンドの存在が大きいが、従来安定した資金調達源とされているカバードボンド市場に構造的な変化が生じたことが借り替えリスクを引き起こしており、特に住宅ローン供給金融機関に対する懸念が高まっているとした。一方で、ムーディーズは、(1) 当該金融機関の問題ローンは低水準であり、資金状況も潤沢であること、(2) 政府の財政がソブリン格付トリプルAを維持しているなど健全であること、(3) デンマーク国民の貯蓄率が高いこと、(4) 社会保障水準が高いことなどを緩和要因として挙げた。</p>
2012/5/30	<p>格付会社S&Pは、デンマークの金融機関であるダンスケ銀行の長期格付を従来の「A」から「A」に引き下げたと発表した。短期格付は従来の「A-1」から「A-2」に引き下げ、格付見通しは「安定的」とした。格下げの要因として、アイルランドにおける不動産市場の継続的な悪化により、同行が予想を超える損失を計上する可能性が高まったことを挙げた。これを踏まえ、同行の2012年度収益が昨年を超える可能性は低くなったとしている。S&Pは同行の安定した預金ベースや国内カバードボンド市場へのアクセスがあること、過去数年において流動性バッファが増強されていることなどを評価し、同行のファンディング状況を「平均的」、流動性状況を「適切」とし、サポート水準についても「高水準」としている。一方で、前述の同行のアイルランド市場へのエクスポージャーがあること、国内の農業・商業不動産部門における問題があることを反映し、同行のリスク状況を「中水準 (Moderate)」としている。</p>
2012/5/10	<p>ダンスケ銀行が公表した2012年第1四半期決算は、純利益が7.83億デンマーク・クローネと前年同期比10.44%の増益となった。金利収支が前年同期比9.84%の増益となったこと、市場環境の改善に伴いトレーディング収支が大幅な増益となったこと、営業コストが減少したことなどが寄与し、アイルランド、デンマークにおける不動産市況の悪化や船舶事業の不調に伴う損失引当金の増加を相殺する形となった。同行のTier1比率は16.0%と前年同期比1.4ポイントの上昇となった。なお、同行は収益の向上およびビジネスモデルの競争力確保を目的に、パーソナルバンキング部門、ビジネスバンキング部門、コーポレート部門を軸とする新しい業務体制を6月1日からスタートすること。</p>

本レポートは、株式会社シinkinインターナショナル（以下、「シinkinインター」と称します。）が、シinkinインターの顧客である貴客に対する情報提供のみを目的として作成したものです。本レポートに含まれる情報は、作成時点の公開情報ならびにシinkinインターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、シinkinインターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。取引の経済上、法律上、税務上のリスクについては、ご自身で判断ください。

本レポート中の見解はシinkinインターの見解であり、変更される可能性があります。シinkinインターは、本レポート中の見解または情報を更新する義務を負いません。

シinkinインターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本レポートまたはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。

日付	ニュース
2012/2/9	<p>ダンスケ銀行が公表した2011年通期決算は、純利益が17.23億デンマーク・クローネと前年同期比52.97%の減益となった。2011年下期以降の市場環境の悪化により借入れコストが上昇したことで、利ざやが減少し、金利収支が減益となった。また、保険事業からの収益が大幅に減収となったことも減益の要因として挙げられている。不良債権の処理については、アイルランド事業を行うNational Irish Bankの商業不動産関連事業で引当金を計上したものの、全体のローン損失額は前年同期比では4.57%の減少となった。なお、同行のTier1比率は16.0%と前年同期比1.2ポイントの上昇となった。</p>
2011/11/1	<p>ダンスケ銀行が公表した2011年1-9月期決算は、純利益が15.23億デンマーク・クローネとなり、前年同期比41.26%の減益となった。減益の要因として景気の低迷や市場の混乱を受け金利収支が低調であったこと、トレーディング収支が第3四半期に大幅な損失を計上し70.92億デンマーク・クローネの損失となったこと、保険事業が減益となったことを挙げた。金利収支に関しては、前年同期比では減益となったが、第3四半期の後半にかけて貸出が持ち直してきており、収益が改善傾向にあるとのこと。コスト面では、デンマーク政府の保証基金であるDanish Guarantee Fund for Depositors and Investorsへの10億デンマーク・クローネの支払額を計上した後も営業コストが前年同期比と同水準に維持されたこと、またローン損失額もデンマーク、バルト海諸国における引当金が減少したことが寄与し前年同期比で23%の減少になった。また、同行は今後の収益向上のために3年越しのコスト削減計画を行うと発表しており、2012～2014年の間に20億デンマーク・クローネの削減を目指すとのこと。多岐にわたる取引においてモバイル銀行などのセルフサービスを導入したこともこの計画の一環として挙げられている。同行のTier 1 比率は16.0%と前年同期比1.8ポイントの上昇、コアTier 1 比率は11.8%と前年同期比1.7ポイントの上昇となった。なお、当該決算を受け、事業環境に対応するため2000人の人員削減を行うと発表している。</p>

日付	ニュース
2011/8/9	<p>ダンスケ銀行が公表した2011年上期決算は、純利益が19.0億デンマーク・クローネと前年同期比11.1%の増益となった。トレーディング収支が前年同期比22.3%となるなど健闘したが、低金利により金利収入が減少したことや、保険事業からの収入が半減したこと等が影響し、金利収支が前年同期比3.9%の減収となった。一方で、ローン損失額はアイルランド事業で引き続き苦戦したものの、デンマーク、スウェーデンおよびバルト海諸国におけるリテール業務が好調であったことから前年同期比27.8%の縮小となり、純利益の増益に貢献した。なお、同行のTier1比率は16.6%と前年同期比1.8ポイントの上昇、コアTier 1比率は12.3%と前年同期比2.2ポイントの上昇となった。</p>
2011/6/27	<p>デンマークの金融機関であるダンスケ銀行は、バーゼルの流動性に関する規制および格付会社ムーディーズのカバードボンドに対する取扱い方法の変更が債券市場に悪影響を及ぼすと警告した。同行は子会社であるRealKreditDanmarkの格下げにより62億ユーロの資本上積みがなければ現在のトリプルA格付けを維持できない可能性があるとの指摘を受けたことが今回の発言の背景にある。同行は今後、ムーディーズからの格付取得を行なうことを取りやめる可能性があるとも発表している。また、一方のバーゼルの流動性に関する規制に関しては、カバードボンドが規制導入により流動性資産として認められなかった場合には、保有者の売却が誘発されるとして、EUに対しロビー活動を行なっているとのこと。※6/10付けで、ムーディーズは変動金利ローンの住宅保有者に対する販売が増加したことにより、債務借換えリスクが生じているとしており、同行のモーゲージ部門であるRealKredit Danmarkおよびデンマークの金融機関であるNykreditのモーゲージ債に関連する格付けを引き下げた。Nykreditは変動金利ローンについては資金調達先の分離を行うことで対応しており、RealKreditもこの動きに追従すると見られている。変動金利ローンの資金調達用の債券残高は2008年には6.36億デンマーク・クローネであったのに対し、2011年には1.22兆デンマーク・クローネまで上昇しており、デンマーク国内におけるすべてのカバードボンドの半分にあたるとのこと。</p>
2011/5/19	<p>格付会社ムーディーズは、デンマークの金融機関6行の格付けを引き下げると発表した。ダンスケ銀行については、政府の支援が低下するのではとの懸念から、発行体格付、長期銀行預金格付、無担保優先債務格付をそれぞれ1ノッチ引き下げ「A2」とした。デンマークでは、2/6にデンマーク第5位の銀行であるアマゲルバンケンが破綻した際に、救済策の「Bank Package III」に基づき、優先債権保有者に損失を負担させたが、その後の議会での提案を経てBankPackage IIIは預金保険の活用等を含め改善されてきている。ただし、ムーディーズは、Bank Package IIIがダンスケ銀行のような規模が大きく、多角的に業務を展開する銀行に対しても使用可能かについて懸念を持っており、今回の格付の引き下げにつながった。また、今後の見通しについては、金融危機以前の水準まで収益水準を回復させるには時間がかかるのではとの見方から「ネガティブ」とした。ムーディーズは、資産の質（特に、デンマークやアイルランド事業）が、同行の収益獲得に関して問題であるとの見解も示唆した。</p>

日付	ニュース
2011/5/10	<p>ダンスケ銀行が公表した2011年第1四半期決算は、純利益が7.09億デンマーク・クローネと前年同期比8.0%の減益となった。デンマーク国内およびバルト海諸国の回復に伴い、貸倒引当金が前年同期比で33.5%の縮小となったものの、デンマーク第5位の銀行であったAmagerbanken A/Sの破綻に伴う調達コストの上昇により金利収支が15.5%減少、事前予想は上回ったもののトレーディング収支が57.7%減少したことが影響した。また、Amagerbanken A/S倒産に伴う損失を補うため、デンマークの補償基金に対するコミットメントの金額が上昇したことで特別損失を計上している。なお、同行のTier1比率は14.6%と前年同期0.4ポイント上昇、コアTier1比率は、10%と0.4ポイントの上昇となった。</p>
2011/2/16	<p>格付会社のムーディーズは、デンマーク第5位の銀行であるアマゲルバンケンが2/6に破綻した際に政府が優先債保有者に損失を負担させたことを受け、ダンスケ銀行をはじめとする国内5行の格付を引き下げた。なお、ダンスケ銀行の長期預金格付けについては、Aa3からA1(*-)に変更した。</p>
2011/2/11	<p>ダンスケ銀行が公表した2010年第4四半期決算は、純利益が10.68億デンマーク・クローネとなり、前年同期比で6.63億クローネの増益となった。金利収支(10.2%減)およびトレーディング収支(59.4%減)が悪化したものの、貸倒引当金計上額が40.1%減少したことで、増益となった。なお、2010年通期ベースの決算では、純利益が36.61億クローネと前年から倍増した。2009年に急増したトレーディング収益が2010年は例年並みに落ち着いたことや、金利収支が13.3%減少するなどのマイナス要因があったものの、不良債権処理額が46.1%減少したことや、営業費用が10%減少したことが奏功し大幅増益となった。Tier1比率は14.8%と前年比0.7ポイント、コアTier1比率は10.1%と0.6ポイントの上昇となった。また、2011年上期に200億クローネを増資する計画があることに加え、デンマーク政府から注入を受けているハイブリッド・キャピタルを返済できるよう政府に要求していることを明らかにした。</p>
2010/11/3	<p>ダンスケ銀行が公表した2010年第3四半期決算は、純利益が8.87億デンマーク・クローネとなり、前年同期比52%の増益となった。金利収支は前年同月比11%の減益、トレーディング収益も50%の減益となったが、貸出の不良債権処理に関するコストが30.83億デンマーク・クローネと前年同期の61.64億デンマーククローネからほぼ半減したことが影響した。ダンスケ銀行は2009年に、デンマーク、アイルランド、バルト諸国の景気低迷により北欧銀行の中で最大の不良債権を計上したが、デンマークとアイルランドの損失が改善されたことにより、市場予想を上回る損失の改善につながった模様。</p>